

みんなで考えるSDGs

～日常生活や地域活動においてSDGsを”わがこと”として
気にかけていただくための参考資料～



目次

1. SDGsとは
2. 17の目標(ゴール)について
3. 今日からできるSDGsアクション
4. 平野区役所におけるSDGsの推進
5. 2025大阪・関西万博とSDGs

1. SDGs(エスディー・ジーズ)とは

SDGsとは、「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の頭文字と最後のsをとったものです。

2015年9月、ニューヨーク国連本部で開催された国連サミットで、国際社会が抱える課題を2030年までに解決するために、**すべての国連加盟国が一致して採択した17の目標(ゴール)**のことです。

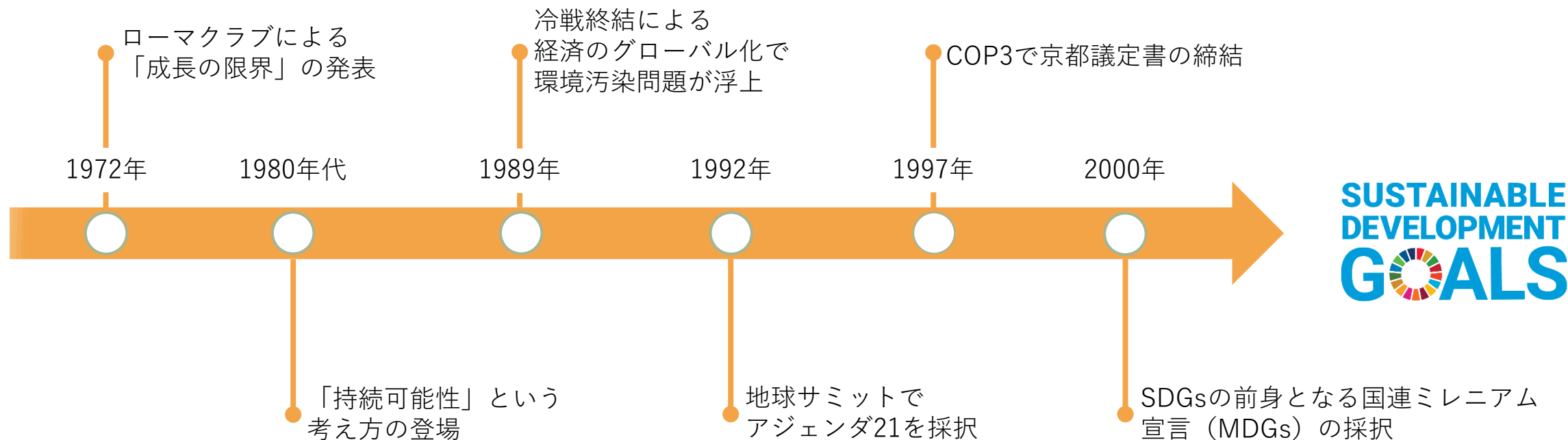
「誰ひとり取り残さない」という理念のもと、SDGsでは、ジェンダー平等、気候変動、海洋汚染などの世界的課題の解決にむけて、先進国や開発途上国の別を問わず、全世界の国と人々が一体となって、**次の世代も住み続けられる地球のことを考えた取組**が求められています。



1. SDGs(エスディージーズ)とは

なぜSDGsが採択されたのでしょうか？

SDGsができた背景には、技術の発明や経済発展による社会や環境の変化、戦争などをのりこえて人権尊重の考えが広まったことなど、さまざまな人々の営みや歴史があります。



1. SDGs (エスディー・ジーズ) とは

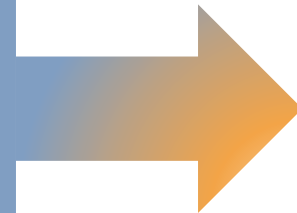
SDGs採択以前は、MDGsという目標がありました。
これは途上国の開発問題が中心で、先進国はそれを援助する側という位置付けでした。

MDGsでは一定の成果を上げましたが、すべての目標を達成できたわけではありません。また、気候変動、ジェンダー平等、経済成長のような、先進国も解決すべき問題について課題を残しました。

MDGs

(Millennium Development Goals)

- 2001年～2015年の目標
- 8ゴール・21ターゲット
- 開発途上国中心の目標
- 取組主体は政府や国連



SDGs

(Sustainable Development Goals)

- 2016年～2030年の目標
- 17ゴール・169ターゲット
- 開発途上国、先進国両方の目標
- 国や自治体だけでなく民間企業や個人も取組主体

2. 17の目標(ゴール)について

SDGsの17の目標(ゴール)は、MDGsで達成できなかった目標と先進国にも関わる新たな目標を追加し、すべての国を対象としています。

MDGsに含まれていた 目標に関連する内容



新たにSDGsで追加されたもの



2. 17の目標(ゴール)について

17の目標は、5つの「P」に分類することができます。

「People(人間)」のために…
人らしく生きていくための項目

「Prosperity(豊かさ)」のために…
経済的な豊かさや、技術産業、
インフラなどについての項目

「Planet(地球)」のために…
自然環境についての項目

「Peace(平和)」のために…
戦争や暴力・不正のない世界を実現するための項目

「Partnership(パートナーシップ)」のために…
目標実現のために、みんなが協力していくための項目



2.17の目標（ゴール）について

目標ごとに解決しなければならない問題を紹介します。



目標1 貧困をなくそう

世界	十分な食料や安全な飲み水を得られない人たちがたくさんいる。
日本	ほかの家庭より低い所得の「相対的貧困」や、「貯蓄がない」状態の人たちは少なくない。



目標2 飢餓をゼロに

世界	長期間にわたって十分に食べられず、生活が困難になるほど栄養不足になっている人たちがたくさんいる。
日本	多くの農作物を輸入しているにもかかわらず、食べられるのに捨てられてしまう食品（食品ロス）がとても多い。

2.17の目標（ゴール）について

3 すべての人に
健康と福祉を



目標3 すべての人に健康と福祉を

世界	妊産婦や新生児の死亡率が高く、5歳まで生きられずいのちを落とすこどもが少なくない。
日本	お酒やたばこの乱用、ドラッグなどによって健康な生活を続けられない人がいる。

4 質の高い教育を
みんなに



目標4 質の高い教育をみんなに

世界	小学校に通えないこどもがいる。
日本	経済的な理由で、進学をすることができない、行きたい学校に行くことができない人たちがいる。

5 ジェンダー平等を
実現しよう



目標5 ジェンダー平等を実現しよう

世界	女の子という理由だけで学校にも通わせてもらえず、幼いうちに結婚させられる国がある。
日本	世界の中でもジェンダーギャップが激しい。特に、「政治」「経済」に関する格差は依然として大きい。

2.17の目標(ゴール)について

6 安全な水とトイレを世界中に



目標6 安全な水とトイレを世界中に

世界	衛生的な水が手に入らない地域がある。水運びの労働をするため、教育を受ける機会を逃すこともがある。
日本	厳しい財政状況の中、老朽化した上下水道インフラの維持・管理が十分にできなくなる恐れがある。

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



目標7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに

世界	いまだに電気を使えない生活を送る人もおり、薪や炭を燃やして料理をしたり暖をとったりする人も多い。
日本	エネルギー資源の多くを輸入に頼っており、化石燃料への依存度も高い。再生可能エネルギーの積極的な導入が求められている。

8 働きがいも経済成長も



目標8 働きがいも経済成長も

世界	劣悪で危険な環境の長時間労働や、児童労働、人身売買など多くの問題がある。
日本	非正規労働者、ワーキングプアが増えており、過労死、過労自殺に追い込まれる人も後を絶たない。

2.17の目標（ゴール）について

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



目標9 産業と技術革新の基盤をつくろう

世界	水道・電気・衛生的なトイレなどのインフラが整備されていない国や地域が多くある。
日本	大きな災害でインフラが破壊され、復旧に時間がかかることがある。

10 人や国の不平等
をなくそう



目標10 人や国の不平等をなくそう

先進国と開発途上国、豊かな人と貧しい人、男性と女性、障がいがある人となない人、人種、民族、宗教の違いなど、世界中には様々な不平等や差別があり、格差の原因となっている。

11 住み続けられる
まちづくりを



目標11 住み続けられるまちづくりを

世界	「スラム」とよばれる衛生環境の悪い地域で暮らす人が多く、ごみ問題、犯罪増加などの問題がある。
日本	大都市圏への人口集中による地方都市での人口流出と住民の高齢化・地域の過疎化や、自然災害による被害の拡大などの問題がある。

2.17の目標（ゴール）について



目標12 つくる責任 つかう責任

世界	安価で購入できる商品の裏には、低賃金労働の問題がある。
日本	食品や電気などが無駄に消費されている。



目標13 気候変動に具体的な対策を

世界	地球温暖化によって、地球の平均気温の上昇、猛暑、豪雨などの異常気象や、洪水、干ばつなどの災害が増えている。
日本	化石燃料への依存度が高く、省エネ・再生可能エネルギーへの大きな転換が求められている。



目標14 海の豊かさを守ろう

水産物の獲りすぎや生活排水、工場排水、船やタンカーから漏れた油による海洋汚染、人間が出すプラスチックごみによる海洋ごみの増加が進んでいる。

2.17の目標（ゴール）について

15 陸の豊かさを守ろう



目標15 陸の豊かさを守ろう

世界 開発により森林面積が減少し、多くの生物が絶滅の危機にある。

日本 適切な管理がされず放置された人工林が増えている。土地の保水力が低下し、土砂災害の原因にもなっている。

16 平和と公正をすべての人に



目標16 平和と公正をすべての人に

世界 多くの子どもたちが紛争地域で暮らしており、戦闘の犠牲だけでなく、住む場所を奪われたり飢えたりしている。

日本 虐待、家庭内暴力、いじめなど、日常の中にも様々な暴力が存在している。

17 パートナースhipで目標を達成しよう



目標17 パートナースhipで目標を達成しよう

開発途上国は、自分たちだけで問題を解決することが難しいため、先進国からの積極的な支援が必要。また、先進国でも、国や企業任せにすることなく、みんなで協力して解決していくことが求められる。